



GitHubでの**NetApp**製品ドキュメントへの貢献 Contributor's Guide

NetApp
September 18, 2025

This PDF was generated from <https://docs.netapp.com/ja-jp/contribute/index.html> on September 18, 2025. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

GitHubでのNetApp製品ドキュメントへの貢献	1
概要	1
ドキュメントの変更を申請してください	1
ドキュメントに編集内容を送信します	4
AsciiDoc リファレンス	7
基本	7
見出し	7
太字	7
斜体	7
箇条書きリスト	8
ラベル付きリスト	8
手順	9
イメージ	9
ビデオ	10
リンク	10
メモ、ヒント、および注意	11
高度な機能	11
文書ヘッダー	12
行送りの段落	12
表	13
タスクの見出し	13
コマンド構文	14
変数テキスト	14
コード構文の強調表示	15
コンテンツの再利用	16
ネットアップのテクニカルドキュメントに記載されているAI生成コンテンツの使用を禁止するポリシー	18
法的通知	19
著作権	19
商標	19
特許	19
プライバシーポリシー	19

GitHubでのNetApp製品ドキュメントへの貢献

ネットアップの製品とサービスのドキュメントはオープンソースで提供されています。これにより、改善、修正、提案を行うことで、コンテンツに貢献できます。必要なのは、GitHub アカウントと少しのイニシアチブだけです。

概要

ドキュメントには次のオプションを使用して投稿できます。

- [ドキュメントの変更をリクエストする]*を選択して、一般的なフィードバックを送信したり、コンテンツに関する質問をしたりします。ネットアップのコンテンツリーダーがリクエストを確認し、ドキュメントに必要な変更を特定します。これが最も一般的なオプションです。

[このオプションの詳しい手順を確認してください。](#)

- コンテンツを自分で直接編集するには、*このページを編集*を選択します。ネットアップのコンテンツリーダーが編集内容を確認し、マージします。

[このオプションの詳しい手順を確認してください。](#)

次のビデオでは、これら2つのオプションの概要を説明します。

docs.netapp.comへの貢献の概要

以下のセクションでは、ステップバイステップの手順を説明します。

ドキュメントの変更を申請してください

ドキュメントの変更リクエストを提出することは、ネットアップのドキュメントを作成するための最も一般的な方法です。リクエストを送信すると、コンテンツリーダーがフィードバックを受け取ったことを確認します。GitHub から電子メール通知が送信されます。

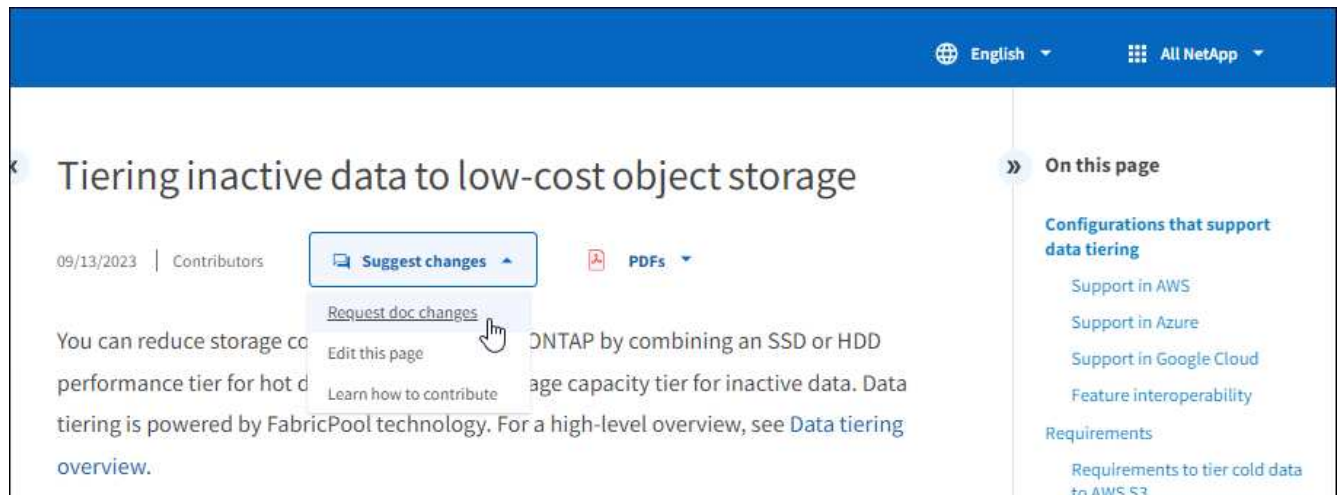
コンテンツリーダーが、コンテンツの品質を向上させることができることに同意した場合は、その直後に変更をコミットします。フィードバックが反映されたことを知らせる通知が表示されます。



ユーザが入力したコメントはすべて一般に公開されています。GitHub リポジトリで問題に移動した人は誰でもコメントを見ることができます。

手順

1. GitHub アカウントをお持ちでない場合は、["github.com](https://github.com) から作成します"
2. GitHub アカウントにログインします。
3. Web ブラウザを使用して、のページを開きます ["docs.netapp.com"](https://docs.netapp.com) これはあなたのフィードバックに関連しています。
4. ページの上部で、*[変更の提案]>[ドキュメントの変更をリクエスト]*を選択します。



新しいブラウザタブが開き、GitHubフォームが表示されます。このフォームを使用して、ドキュメントチームに詳細を提供できます。

5. タイトル、概要を入力し、問題に機密情報が含まれていないことを確認します。

フォームには、ページのURLとタイトルがあらかじめ入力されています。この情報は削除しないでください。リクエストを理解するために必要になります。

Broken link

Welcome and thank you for your contribution.

Anything that you enter here is publicly visible. If you need to provide sensitive information, you can email us at doccomments@netapp.com.

Page URL *

<https://docs.netapp.com/us-en/test/task-tiering.html>

Page title *

Tiering inactive data to low-cost object storage

Summary *

Required. Describe the problem.

Write Preview

H B I E < > Link List Table @ Share

The link to AWS documentation is broken.

Attach files by dragging & dropping, selecting or pasting them.

Public issues must not contain sensitive information

Required. Examples of sensitive information include but are not limited to customer information, employee information, unreleased features, release dates, or confidential product information.

☒ This issue contains no sensitive information. *

Fields marked with an asterisk (*) are required.

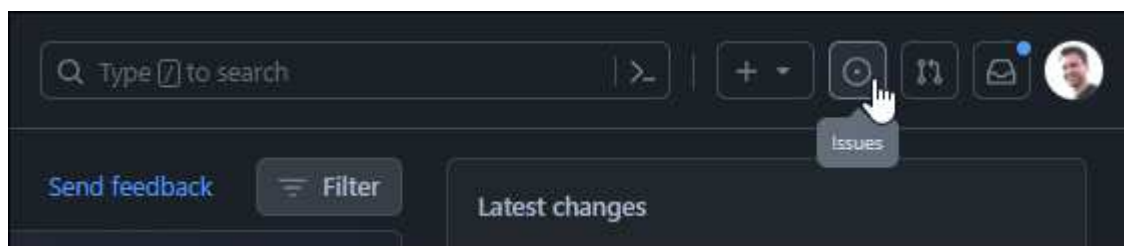
Submit new issue

6. [新しい問題を送信]*を選択して、リクエストの問題を作成します。

完了したら

問題を開くと、GitHub のコメントを使用してコラボレーションを行うことができます。GitHub のアカウント設定で指定した設定に基づいて、電子メール通知が送信されます。

GitHub バナーから *Issues* を選択して、リクエストのステータスを表示することもできます。



タブ

ドキュメントに編集内容を送信します

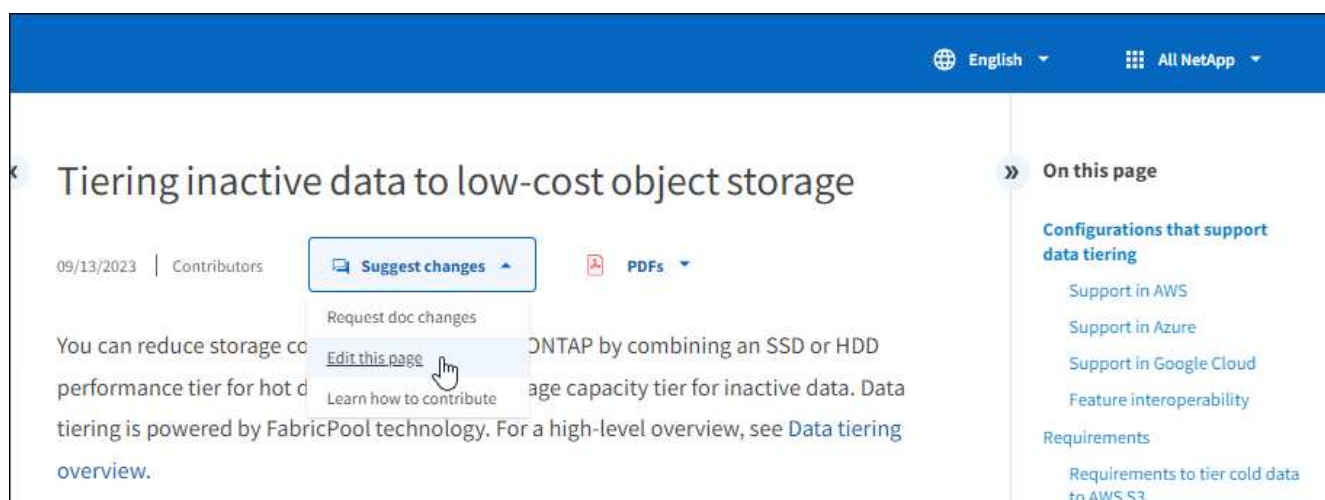
コンテンツを自分で編集したい場合は、ソースファイルを直接編集して、表示するドキュメントの変更を送信できます。

外部の寄与者として、変更を直接パブリッシュすることはできません。コンテンツリードが変更内容を確認し、必要な編集を行った後、変更内容をマージします。この場合、GitHub から電子メール通知が送信されます。

ソースファイルの編集についてサポートが必要な場合は、"[AsciiDoc構文について学ぶ](#)"。

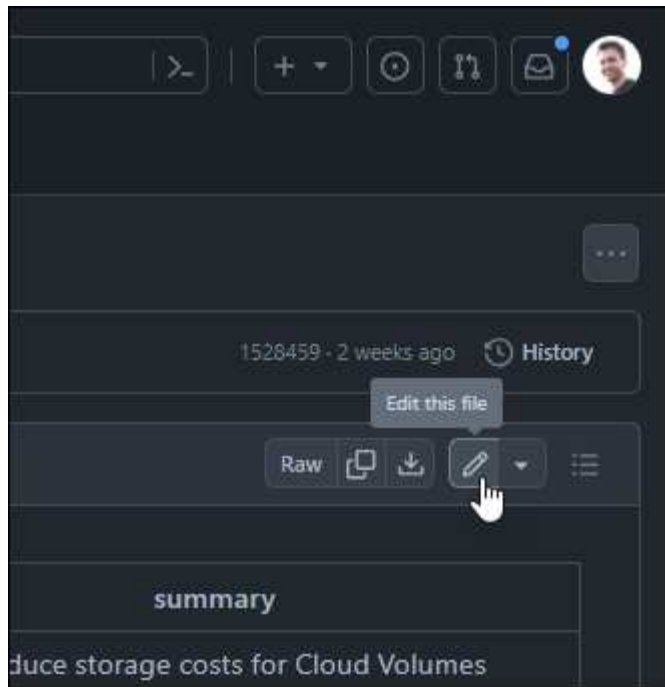
手順

1. GitHub アカウントをお持ちでない場合は、"[github.com](#) から作成します"
2. GitHub アカウントにログインします。
3. Web ブラウザを使用して、のページを開きます "[docs.netapp.com](#)" を編集します。
4. ページの上部で、*[Suggest Changes]>[Edit this page]*を選択します。



新しいブラウザタブが開き、ドキュメントサイトのGitHubリポジトリ内のファイルに移動します。

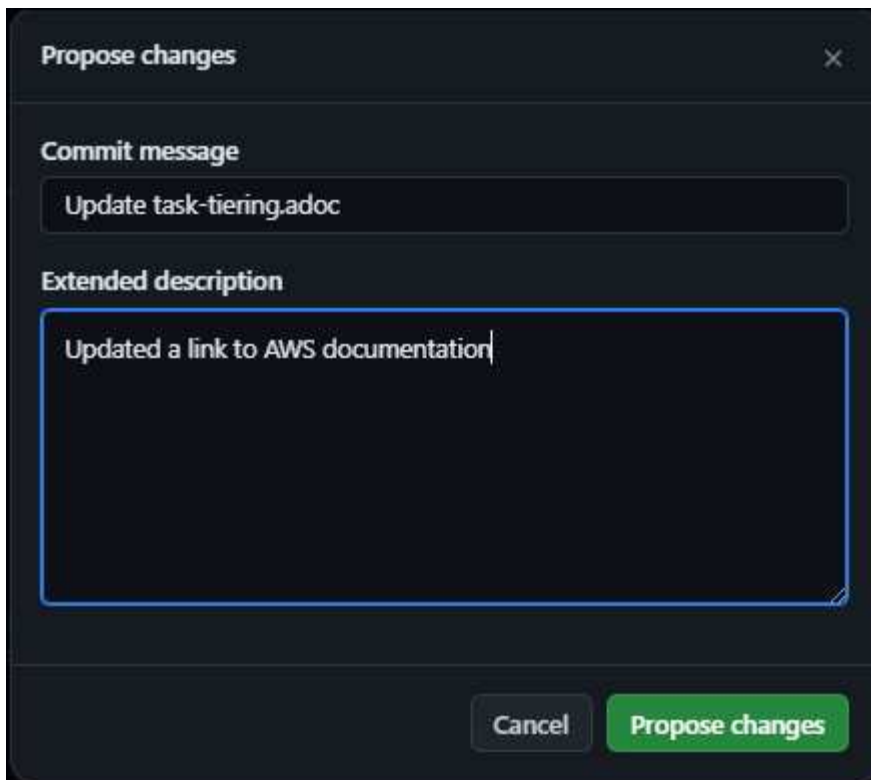
5. 鉛筆アイコンを選択します。



6. リポジトリのフォークを作成するように求められたら、*[このリポジトリをフォークする]*を選択します。
7. コンテンツを編集します。

コンテンツは、軽量マークアップ言語の AsciiDoc で記述されています。"[AsciiDocの構文について](#)"。

8. 変更をコミットするには、*[Commit Changes]*を選択し、次のフォームに入力します。
 - a. 必要に応じて、デフォルトのコミットメッセージを変更します。
 - b. オプションの概要を追加します。
 - c. [変更を提案]*を選択します。



Propose changes

Commit message

Update task-tiering.adoc

Extended description

Updated a link to AWS documentation

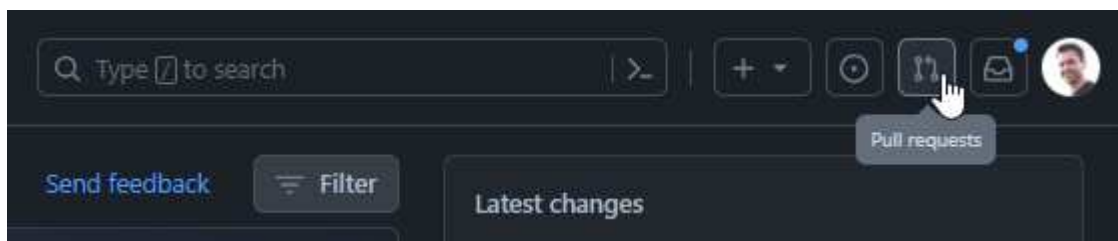
Cancel Propose changes

9. [プルリクエストの作成]*を選択します。

完了したら

変更を提案したら、変更内容を確認し、必要な編集を行ってから、変更内容を GitHub リポジトリにマージします。

GitHubバナーから* Pull Requests *を選択すると、プルリクエストのステータスを表示できます。



AsciiDoc リファレンス

AsciiDoc は、マークダウンに似た軽量のマークアップ言語です。標準の Markdown よりも AsciiDoc を選択した理由は、デフォルトの機能がさらに充実しているためです。さらにパワフルなのに、使いやすさも変わりません。AsciiDoc での執筆を開始するには、以下のセクションを参照してください。

を参照してください ["AsciiDoctor ユーザーマニュアル"](#) を参照してください。

基本

ドキュメントの更新を簡単に投稿するには、いくつかの点を知っておく必要があります。

見出し

```
= Page title
== Level 1 section
=== Level 2 section
==== Level 3 section
===== Level 4 section
```

ページタイトルは1つしか設定できませんが、複数のセクションタイトルを設定できます。たとえば、レベル2および3のセクションを含むレベル1のセクションが3つあるとします。

```
= Page title
== Level 1 section
=== Level 2 section
== Level 1 section
== Level 1 section
=== Level 2 section
==== Level 3 section
```

太字

```
*Text*
```

斜体

```
_Text_
```

箇条書きリスト

```
* Item 1
+
Continuation text for the previous list item.

* Item 2
** Item 2a

* Item 3
```



+ はリストの続きです。テキストはリストアイテムとインラインに保持されます。+ を省略すると、その行の書式設定に影響します。

ラベル付きリスト

```
Item 1::
Description 1

Item 2::
Description 2
```

または

```
[horizontal]
Item 1::
Description 1

Item 2::
Description 2
```

項目 1 の上に [horizontal] を追加すると、ラベルと概要が同じ行に表示されます。これは、簡単な説明をしていれば問題ありません。

- 例（[horizontal]* を使用しない場合）

項目 1
 概要 1.

項目 2
 概要 2.

- 例に [horizontal]* を指定します

項目 1

概要 1.

項目 2

概要 2.

手順

```
.Steps

. Step 1

. Step 2
+
Info for step 2

. Step 3
.. Step 3a
.. Step 3b

. Step 4
```



+ はリストの続きです。テキストはリストアイテムとインラインに保持されます。+ を省略すると、その行の書式設定に影響します。

イメージ

```
image:file.png["alt text"]
```

alt text は代替テキストを意味します。ページに表示されるイメージについて説明します。主な用途は、スクリーンリーダーを使用する視覚障害のあるユーザーです。

2つの注意：

1. カンマのような句読点は、コンテンツを AsciiDoc から HTML に変換する機能に影響を与える可能性があるため、alt テキストを引用符で囲むことをお勧めします。
2. ["AsciiDoctor のドキュメント"](#) ブロックするイメージ `_` は `_` コロン: `image::file.png` を付けた単独の行に置く必要があることを指定します

しかし、上に示すように、コロンを 1 つ使用することを好みます。1 つのコロンを使用した方が同じ結果になり、社内ツールを使用した方が効果的です。

ビデオ

YouTube でホスト：

```
video::id[youtube]
```

GitHub でローカルにホスト：

```
video::https://docs.netapp.com/ja-jp/contribute//media/file.mp4
```

リンク

使用する構文は、リンク先によって異なります。

- [\[外部サイトへのリンク\]](#)
- [\[同じページ上のセクションにリンクします\]](#)
- [\[ドキュメント内の別のページへのリンク\]](#)

外部サイトへのリンク

```
url[link text^]
```

^をクリックすると、リンクが新しいブラウザタブで開きます。

同じページ上のセクションにリンクします

```
<<section_title>>
```

例：

```
For more details, see <<Headings>>.
```

リンクテキストには、セクションタイトル以外の内容を指定できます。

```
<<section_title,Different link text>>
```

例：

```
<<Headings,Learn the syntax for headings>>.
```

ドキュメント内の別のページへのリンク

ファイルは同じ GitHub リポジトリにある必要があります。

```
xref:{relative_path}<file_name>.html[Link text]
```

ファイル内のセクションに直接リンクするには、ハッシュ（#）とセクションのタイトルを追加します。

```
xref:{relative_path}<file_name>.html#<section-name-using-dashes-and-all-lower-case>[Link text]
```

例：

```
xref:{relative_path}style.html#use-simple-words[Use simple words]
```

メモ、ヒント、および注意

メモ、ヒント、または注意事項を使用して、特定の記述に注意を払う必要がある場合があります。次のようにフォーマットします。

NOTE: text

TIP: text

CAUTION: text

これらは慎重に使用してください。メモやヒントがいっぱいのページは作成したくありません。それらはすることをより少なく意味をなされる。

AsciiDoc のコンテンツが HTML に変換された場合、次のように表示されます。



これはメモです。読者が知る必要があるかもしれない追加情報を含んでいる。



ヒントは、ユーザーが何かをしたり、何かを理解したりするのに役立つ情報を提供します。



注意は、読者に注意して行動するように促すものです。この手順はまれに使用してください。

高度な機能

新しいコンテンツを作成する場合は、このセクションで詳細を確認してください。

文書ヘッダー

各 AsciiDoc ファイルには、2 種類のヘッダーが含まれています。1 つ目は GitHub 用で、2 つ目は AsciiDoctor 用で、AsciiDoc のコンテンツを HTML に変換する発行ツールです。

GitHub ヘッダーは、.adoc ファイルの最初のコンテンツセットです。次の項目を含める必要があります。

```
---
sidebar: sidebar
permalink: <file_name>.html
keywords: keyword1, keyword2, keyword3, keyword4, keyword5
summary: "A summary."
---
```

キーワードと概要は、検索結果に直接影響します。実際には、サマリー自体が検索結果に表示されます。使いやすくなっていることを確認してください。ベストプラクティスは、概要をリード段落に反映させることです。



引用符で要約を囲むことをお勧めします。句読点のようにコロンは、コンテンツを AsciiDoc から HTML に変換する機能に影響する可能性があるためです。

次のヘッダーは、ドキュメントタイトルのすぐ下に表示されます（を参照）[\[見出し\]](#)）。このヘッダーには次のものが含まれている必要があります

```
:hardbreaks:
:icons: font
:linkattrs:
:relative_path: ./
:imagesdir: {root_path}{relative_path}./media/
```

この見出しのパラメータには触れなくてもかまいません。貼り付けて、忘れてください。

行送りの段落

ドキュメントタイトルの下に表示される最初の段落には、そのすぐ上に次の構文が含まれている必要があります。

```
[.lead]
This is my lead paragraph for this content.
```

[.lead] は CSS フォーマットを行の段落に適用します。行の段落には、それに続くテキストとは異なる書式が設定されています。

表

基本テーブルの構文は次のとおりです。

```
[cols=2*,options="header",cols="25,75"]
|===
| heading column 1
| heading column 2
| row 1 column 1 | row 1 column 2
| row 2 column 1 | row 2 column 2
|===
```

テーブルをフォーマットする方法には、多種類の方法があります。を参照してください ["AsciiDoctor ユーザーマニュアル"](#) を参照してください。



セルに箇条書きのような書式設定されたコンテンツが含まれている場合は、書式設定を有効にするために列ヘッダーに「A」を追加することをお勧めします。例：[cols="2、4a" options="header"]

"表の例については、[『AsciiDoc Syntax Quick Reference』](#)を参照してください"。

タスクの見出し

タスクの実行方法を説明している場合は、手順を開始する前に概要情報を含めることができます。また、手順の完了後に何をすべきかを説明しなければならない場合もあります。その場合は、ヘッダーを使用して情報を整理することをお勧めします。これにより、スキャンが可能になります。

必要に応じて、次の見出しを使用します。

必要なもの

ユーザーがタスクを完了するために必要な情報

このタスクについて

このタスクについてユーザーが知っておく必要がある追加のコンテキスト情報

手順

タスクを完了するための個別のステップ。

次の手順

ユーザーが次に行うべきこと

それぞれにが含まれている必要があります。テキストの直前に次のように表示されます。

```
.What you'll need
.About this task
.Steps
.What's next?
```

この構文は、太字のテキストを大きなフォントで適用します。

コマンド構文

コマンド入力を指定する場合は、等幅フォントを適用するためにコマンドを「」で囲みます。

```
`volume show -is-encrypted true`
```

次のように表示されます。

`volume show -is-encrypted true` と表示されます

コマンドの出力やコマンド例には、次の構文を使用します。

```
----
cluster2::> volume show -is-encrypted true

Vserver  Volume  Aggregate  State  Type  Size  Available  Used
-----  -
vs1      vol1    aggr2      online RW    200GB    160.0GB    20%
----
```

4本のダッシュを使用して、一緒に表示するテキストの行を個別に入力できます。結果は次のとおりです。

```
cluster2::> volume show -is-encrypted true

Vserver  Volume  Aggregate  State  Type  Size  Available  Used
-----  -
vs1      vol1    aggr2      online RW    200GB    160.0GB    20%
```

変数テキスト

コマンドおよびコマンド出力では、変数テキストをアンダースコアで囲み、イタリック体を適用します。

```
`vserver nfs modify -vserver _name_ -showmount enabled`
```

このコマンドと変数テキストは次のようになります。


```
vserver nfs modify -vserver_name_ - showmount enabled `
```



現在のところ、アンダースコアはコード構文の強調表示ではサポートされていません。

コード構文の強調表示

コード構文の強調表示により、最も一般的な言語をドキュメント化するための開発者向け解決策が提供されます。

• 出力例 1 *

```
POST https://netapp-cloud-account.auth0.com/oauth/token
Header: Content-Type: application/json
Body:
{
  "username": "<user_email>",
  "scope": "profile",
  "audience": "https://api.cloud.netapp.com",
  "client_id": "UaVhOIXMWQs5i1WdDxauXe5Mqkb34NJQ",
  "grant_type": "password",
  "password": "<user_password>"
}
```

• 出力例 2 *

```
[
  {
    "header": {
      "requestId": "init",
      "clientId": "init",
      "agentId": "init"
    },
    "payload": {
      "init": {}
    },
    "id": "5801"
  }
]
```

• サポートされている言語 *

- bash
- カール
- HTTPS

- JSON
- PowerShell
- パペット
- Python
- YAML
- 実装 *

次の構文をコピーして貼り付け、サポートされている言語とコードを追加します。

```
[source,<language>]
<code>
```

例：

```
[source,curl]
curl -s https://v1/ \
-H accept:application/json \
-H "Content-type: application/json" \
-H api-key: \
-H secret-key: \
-X [GET,POST,PUT,DELETE]
```

コンテンツの再利用

複数のページにまたがって繰り返されるコンテンツがある場合は、簡単に一度作成して、それらのページ間で再利用できます。再利用は、同じリポジトリ内および複数のリポジトリ間で可能です。その仕組みをご紹介します。

1. リポジトリ内に `_include` という名前のフォルダを作成します
2. そのフォルダに、再利用するコンテンツを含む `.adoc` ファイルを追加します。

文、リスト、テーブル、1つ以上のセクションなどを指定できます。ファイルに他のものを含めないでください。ヘッダや何もありません。

3. 次に、そのコンテンツを再利用したいファイルに移動します。
4. `_Same_GitHub` リポジトリ内のコンテンツを再利用する場合は'行ごとに次の構文を使用します

```
include::_include/<filename>.adoc[]
```

例：

```
include::_include/s3regions.adoc[]  
._different_repository
```

内のコンテンツを再利用する場合は、行に対して次の構文を単独で使します。

```
include::https://raw.githubusercontent.com/NetAppDocs/<reponame>/main/_i  
nclude/<filename>.adoc[]
```

これで完了です。

include ディレクティブの詳細については、"[『AsciiDoctor User Manual』を参照してください](#)"。

ネットアップのテクニカルドキュメントに記載されているAI生成コンテンツの使用を禁止するポリシー

ネットアップでは、お客様のために正確で関連性が高く有用な技術文書を作成、公開、保守するにあたり、従業員、請負業者、パートナーの専門知識を高く評価しています。AIで生成されたコンテンツを使用すると、これらの価値が損なわれ、ドキュメントの整合性と正確性が損なわれる可能性がありますと考えています。そのため、ネットアップのポリシーは、人間による検証と検証が行われていないAI生成コンテンツの公開を禁止することです。この環境のすべてのテクニカルドキュメントは、docs.netapp.comで公開されています。このポリシーは、販売する製品のコードの記述に言語モデルを使用することを禁止するネットアップのポリシーに類似しており、その内容が拡張されています。

NetAppDocsに投稿するすべての人は、次のポリシーに従うことを期待しています。

- AIから生成されたお客様向けドキュメント（ネットアップ製品の使用方法）を、人手によるレビューと検証なしに公開することは認めていません。これには、docs.netapp.comで公開されている書面資料、グラフィック、マルチメディア、またはその他の資料が含まれます。docs.netapp.comで公開されているすべてのコンテンツは、ヒューマンコンテンツ作成者によって検証および検証されなければなりません。
- docs.netapp.comのコンテンツ作成者の役割の一部には、スタイルガイドとコントリビューターガイドの遵守が含まれています。これには、AI生成コンテンツの最新の開発内容と、ネットアップの技術ドキュメントに与える影響に関する最新情報の把握も含まれます。
- すべての従業員、請負業者、およびパートナーは、本ポリシーを遵守することが求められます。違反が繰り返されると、オーサリング権限が中断される可能性があります。

NetAppDocsの作成者は、次の点に留意する必要があります。

- Microsoft 365 Co-pilotなど、作業用コンピュータにインストールしたソフトウェアに組み込まれたAIベースのコンテンツ生成テクノロジーはすべて、支援テクノロジーをホストする企業にデータを送信します。リリースされていない製品機能の仕様を含むが、これに限定されない会社の機密コンテンツで、このような技術を促してはなりません。
- 以前にリリースされていない**製品、製品のバージョン、または製品内の機能の技術文書を生成または編集するために、パブリックAIテクノロジーを使用しないでください。
- 新しいテクニカルドキュメントの著作権はネットアップ社内に保持する必要があり、正式な製品リリース日および関連するテクニカルドキュメントが発行されるまでは、ネットアップ社外のAISと共有しないでください。
- 機密文書や新規作成されたコンテンツをAI (ChatGPTまたはその他のツール)に送信しないでください。ChatGPTに入力されたすべての情報は、そのトレーニングデータセットの一部となり、OpenAIのプロパティとなり、それらとそのユーザーが使用できるようになります。これらのデータの多くは一般公開されていますが、独自のIPでモデルをトレーニングすることは避けたいと考えています。

法的通知

著作権に関する声明、商標、特許などにアクセスできます。

著作権

["https://www.netapp.com/company/legal/copyright/"](https://www.netapp.com/company/legal/copyright/)

商標

NetApp、NetApp のロゴ、および NetApp の商標ページに記載されているマークは、NetApp, Inc. の商標です。その他の会社名および製品名は、それぞれの所有者の商標である場合があります。

["https://www.netapp.com/company/legal/trademarks/"](https://www.netapp.com/company/legal/trademarks/)

特許

ネットアップが所有する特許の最新リストは、次のサイトで入手できます。

<https://www.netapp.com/pdf.html?item=/media/11887-patentspage.pdf>

プライバシーポリシー

["https://www.netapp.com/company/legal/privacy-policy/"](https://www.netapp.com/company/legal/privacy-policy/)

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。